

あいちビジョン2020 2017-2020 実施計画 (概要版)

- 2014年(平成26年)3月に策定した「あいちビジョン2020」については、毎年度、年次レポートを作成しながら、進行管理を実施。
- ビジョン後半期初年度となる2017年度(平成29年度)は、ビジョンに位置づけた政策の4か年(2017~2020年度(平成29~32年度))の実施計画を作成。
- 「2017-2020実施計画」では、ビジョンで掲げた12の重要政策課題のもとに構成する52の政策の柱ごとに、588の施策の4か年の工程表を示すとともに、275の数値目標を明示。また、県が取り組む主な政策やその背景などを分かりやすく、38のコラムで紹介。

ビジョン策定後の社会経済情勢の変化と新たな政策課題

「あいちビジョン 2020」の推進前半期（2014～2016 年度）については、本県を取り巻く経済・雇用環境が比較的良好な状況が続き、人口も想定を上回る増加が続く中で、それぞれの取組は概ね順調に進んできているものと考えられる。

一方、ビジョン策定以降、社会経済情勢の変化や新たな政策課題の顕在化、愛知の将来に大きな影響を与えるプロジェクトの進展など、ビジョン策定時とは異なる環境も出てきている。

<主な社会経済情勢の変化と新たな政策課題>

- 東京一極集中の加速と地方創生の取組（若年女性の東京圏への転出超過等）
- グローバル経済環境の変化と保護主義的機運の高まり（トランプ大統領の誕生に伴うアメリカのTPP離脱等）
- 急増する外国人観光客（2016年の訪日外国人旅行者数は、3年前（2013年）の2倍以上の2,404万人）
- IoT、AI等の進展による超スマート社会の到来
- 国家戦略特区の区域指定と活用（愛知県は2015年8月に区域指定）
- 一億総活躍社会の実現に向けた「働き方改革」
- 地球温暖化防止の新たな枠組み「パリ協定」の締結・発効
- 熊本地震の発生
- 愛知を舞台とした大規模プロジェクトの進展（第20回アジア競技大会の開催決定、愛知県国際展示場の整備等） など



ビジョン後半期における新たな取組の視点

ビジョンで掲げた3つの姿の実現に向け、新たに以下の取組の視点を踏まえつつ、取組を進めていく。

◆リニアを生かし、世界の中で存在感を発揮する中京大都市圏

- リニアの大阪までの全線開業が早まる可能性も踏まえつつ、陸・海・空のインフラ整備や産業競争力の強化、魅力の創造・発信などの中京大都市圏づくりに取り組んでいく。
- その際、国際展示場の整備やアジア競技大会の開催など、ビジョン策定後にスタートした大規模プロジェクトを生かしていくとともに、本県の強みである「住みやすさ」の若者層への浸透を図りながら、本県への人口流入・定着を促進していく。

◆日本の成長をリードする産業の革新・創造拠点

- グローバルな経済環境やI o T、A I等の技術革新の動向などを踏まえ、国家戦略特区などの制度も活用しながら、次世代自動車や航空宇宙、ロボット等のモノづくり産業の振興や農林水産業の強化を図っていく。
- 中小企業をはじめ、企業の人手不足感が強まっており、本県産業を担う人材の育成・確保に向けた更なる取組を進めていく。

◆人が輝き、女性や高齢者、障害のある人など、すべての人が活躍する愛知

- 子どもの貧困対策や、中小企業における女性の活躍促進、障害のある人の雇用促進、企業等の「働き方改革」の促進のほか、支援が必要な高齢者の急増が見込まれる中で、地域包括ケアシステムの構築や認知症対策などに取り組んでいく。
- パリ協定発効を踏まえた低炭素社会づくりや、熊本地震で明らかになった課題等も踏まえた地震防災対策に取り組んでいく。

重要政策課題に対応する主要政策の実施計画

重要政策課題

1 中京大都市圏 ～ 5千万人リニア大交流圏の西の拠点となる大都市圏に向けて

52 の政策の柱		主な取組・施策と数値目標等
1	リニア開業効果を高める交通ネットワークの整備	<ul style="list-style-type: none"> ・リニア中央新幹線の整備促進のための国・関係機関への働きかけや必要な調整の実施 ・名古屋駅のスーパーターミナル化に向けた名古屋駅周辺まちづくり構想に基づく取組の推進 ・名古屋都心部からの鉄道による 40 分交通圏形成に向けた取組の推進 (知立駅付近の連続立体交差事業等) ・広域道路ネットワークの整備 (名古屋環状 2 号線:名古屋西 JCT～飛島 JCT(仮称)の供用【2020 年度】等)
2	国際交流基盤等の整備・機能強化	<ul style="list-style-type: none"> ・中部国際空港の二本目滑走路の整備 (完全 24 時間化) をはじめとする機能強化に向けた取組の推進 ・県営名古屋空港のコンピューター航空・ビジネス機拠点化に向けた利用促進 ・名古屋港、衣浦港、三河港の港湾機能の強化
3	名古屋都心部等への高次機能集積	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋駅周辺まちづくりにおける交通事業者や名古屋市等と連携した取組の推進、民間再開発の推進 ・土地区画整理事業や鉄道高架化、市街地再開発事業等の促進 (既成市街地等における土地区画整理事業の促進【2020 年度までに 306ha】)
4	自立する大都市圏に向けた取組と中京都構想の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地方分権改革に関する「提案募集方式」等を活用した国から地方への権限移譲等 (提案の実現数【2015～2019 年度までの間で 5 件】) ・県から市町村への権限移譲の推進 ・中部圏知事会議や東海三県一市知事市長会議を活用した新たな広域連携の検討
5	東京一極集中の是正と地方創生に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生推進交付金等を活用した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進 ・「あいち U I J ターン支援センター」(名古屋市中区、東京都港区) による支援 (利用件数【年間 3,000 人】) ・東三河地域の企業の魅力発信や就職支援など、東三河地域における人口確保対策の促進 ・東京圏等の若者層をターゲットとした、愛知の「住みやすさ」の発信

52 の政策の柱		主な取組・施策と数値目標等
6	県内企業の海外展開支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「あいち国際ビジネス支援センター」における相談対応・情報提供など海外展開支援 ・豊田通商(株)との県内企業の海外展開支援に関する協定の締結(2017年4月)と連携事業の実施 ・海外産業情報センター(上海、バンコク)やサポートデスク(中国江蘇省、ベトナム、インド)での相談対応、インドネシアへのサポートデスクの設置【2018年1月頃】
7	グローバル市場の獲得と海外からの投資促進	<ul style="list-style-type: none"> ・「愛知ブランド企業」の情報発信などによる県内企業の海外販路開拓の支援 ・ジェトロ、「愛知・名古屋国際ビジネス・アクセス・センター」(I-BAC)、「グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会」(GNIC)との連携による外資系企業の誘致(外国企業の誘致件数【2016～2020年度で35件】)
8	海外とのパートナーシップの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリアビクトリア州、中国江蘇省、ベトナム、タイ、中国広東省、韓国京畿道、アメリカテキサス州・ワシントン州、インドネシア、ベルギー3地域政府との交流の推進 ・新たなパートナーシップの構築に向けた検討
9	グローバル人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・「あいちスーパーイングリッシュハブスクール事業」、「イングリッシュキャンプ in あいち」等の推進(高校3学年において、英検準2級を取得している生徒及び英検2級以上相当の英語力を有すると思われる生徒の割合【2020年度で50%以上】) ・愛知県立大学における「グローバル実践教育事業」、「グローバル学術交流事業」の推進
10	海外からの人材獲得	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知のものづくりを支えるアジア諸国の技術系を中心とした留学生の受入 ・留学生向けインターンシップの実施など県内就職への支援
11	多文化共生の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教育適応学級担当教員の配置など外国人の子どもの教育の充実 ・「外国人児童生徒等による多文化共生日本語スピーチコンテスト」の開催など日本語教育の支援 ・災害時における「災害多言語支援センター」の設置など外国人県民が安心して暮らせる環境の整備

52 の政策の柱		主な取組・施策と数値目標等
12	付加価値の高いモノづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「知の拠点あいち」を中心とした産学行政連携による「重点研究プロジェクト（第Ⅱ期）」の推進（Ⅰ期の成果活用・実用化件数【2016～2020 年度で 30 件】） ・産業空洞化対策減税基金の活用などによる研究開発・実証実験の支援（試作品製品化率：30%【2020 年度】）
13	自動車産業の高度化と航空宇宙産業・ロボット産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・水素ステーションを整備・運営する事業者に対する補助（水素ステーションの整備【2020 年度までに 40 基】） ・EV・PHV・FCVの普及に向けた本県独自の自動車税の課税免除や中小企業等への導入支援などによる次世代自動車の普及促進（EV・PHVの累計台数【2020 年度までに 42,000 台】） ・「遠隔自動運転システム」を含む自動運転技術の実証実験の実施【2016～2020 年度で 20 件】 ・駐機場の整備など名古屋空港やその隣接地における空港機能及び航空宇宙産業クラスター拠点の整備 ・「あいち航空ミュージアム」の整備・運営（【2017 年 11 月オープン】、年間来場者数【35 万人】） ・リハビリ遠隔医療支援ロボット、リハビリ支援ロボット及び無人飛行ロボットの実証支援 ・ワールドロボットサミットの開催に向けた準備及びロボカップアジアパシフィック大会の招致【2020 年度開催】
14	健康長寿、環境・新エネルギーなど課題解決型産業の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・「あいち健康長寿産業クラスター推進協議会」による産学・医工連携の促進 ・「知の拠点あいち」の「新エネルギー実証研究エリア」における企業の実証研究の支援
15	立地環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・産業空洞化対策減税基金による立地補助、産業立地促進税制などの立地優遇策による支援 ・地域未来投資促進法に基づく基本計画の策定と地域経済牽引事業の促進【2017 年度～】
16	多様な産業の創出・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・（公財）あいち産業振興機構の「創業プラザあいち」における創業支援（創業件数【2016～2020 年度で 75 件】） ・「愛知県IoT推進ラボ」における関連プロジェクトの発掘・組成・サポートや相談、マッチングの支援等
17	中小企業・小規模企業者の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドファンディングを活用した創業や新規事業等挑戦への支援（融資制度の運用） ・あいち産業科学技術総合センターにおける依頼試験や技術相談の実施
18	産業人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・全国初となる公設民営化（専攻科）による県立愛知総合工科高等学校における特色ある教育の推進 ・2019 年度技能五輪全国大会及び 2020 年度技能五輪全国大会・全国アビリンピックの開催準備、2023 年技能五輪国際大会の招致 ・愛知・名古屋ゆかりのノーベル賞受賞者顕彰施設の整備具体化

52 の政策の柱		主な取組・施策と数値目標等
19	農林水産業の市場拡大・経営革新	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6次産業化推進会議の開催や6次産業化サポートセンターの設置・運営による6次産業化の支援（県が行う6次産業化への支援件数【2016～2020年度までの間で1,135件】） ・ 首都圏等における知事のトップセールスやSNSの活用などによる県産農林水産物のPR ・ 「地理的表示（GI）保護制度」や「地域団体商標」の登録支援 ・ 「農林水産業国際競争力強化センター」を核とした県産農林水産物等の輸出促進（輸出に向けた商談件数【毎年150件】）
20	生産性の高い農林水産業の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「農地中間管理機構」による農地集積の促進（担い手への農地集積面積【2020年度までに33,600ha】） ・ 地域農業の担い手と農地利用の方向性を取りまとめた「人・農地プラン」の作成に係る市町村への支援 ・ 農林水産業の生産基盤の強化（農地や農業水利施設の整備・更新面積【2016～2020年度までの間で9,500ha】） ・ 県農林水産研究機関における新品種・新技術の研究開発・普及（新品種・新技術の開発件数【2016～2020年度までの間でそれぞれ25件】） ・ 「あいち型植物工場」の導入推進
21	持続性のある農林水産業の発展	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「農起業支援センター」の活用や、「林業労働力確保支援センター」、「漁業就業相談センター」等との連携による農林水産業の担い手の確保・育成（新規就農者数【毎年210人】、新規林業就業者数【2016～2020年度までの間で200人】、新規漁業就業者数【毎年35人】） ・ 鳥獣被害防止対策の推進（鳥獣被害対策実施隊等の捕獲リーダー数【2020年までに210人】）、愛知産ジビエの販路開拓等に向けたネットワーク化の支援

52 の政策の柱		主な取組・施策と数値目標等
22	現代芸術の創造発信拠点としての地位確立	<ul style="list-style-type: none"> ・「あいちトリエンナーレ 2019」の開催【2019 年度】 ・愛知芸術文化センターでの質の高い舞台芸術や美術展等の開催（愛知芸術文化センター入場者数【年間 200 万人】） ・愛知県立芸術大学の新デザイン棟の整備【2019 年度供用開始】
23	アジア競技大会開催に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア・オリンピック評議会との開催都市契約締結に係る協議、アジア競技大会組織委員会設立 ・アジア競技大会を生かした地域活性化方策の検討・調査
24	全国・世界に打ち出せるスポーツ大会の育成・招致	<ul style="list-style-type: none"> ・「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」等の開催支援（「名古屋ウィメンズマラソン」の県外・海外からの出場者数【15,000 人】） ・「ラグビーワールドカップ 2019」の開催支援
25	地域魅力の磨き上げ・観光客の誘致	<ul style="list-style-type: none"> ・医療ツーリズムの推進 ・愛知県大型観光キャンペーンの実施【2018 年度に集中キャンペーン実施】 ・愛・地球博記念公園内における「ジブリパーク（仮称）」の整備の検討【2020 年代初頭オープン】 ・中部国際空港エリアにおける M I C E を核とした国際観光都市としての機能整備の検討
26	国際展示場の整備と M I C E の戦略的な誘致・開催	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県国際展示場の整備【2019 年 9 月開業】 ・愛知県国際展示場における技能五輪全国大会の開催【2019 年度】、技能五輪全国大会・全国アビリンピックの開催【2020 年度】、ワールドロボットサミットの開催【2020 年度】 ・「愛知・名古屋 MICE 推進協議会」による MICE 誘致の取組の推進（国際会議の開催件数【年間 200 件】）

52 の政策の柱		主な取組・施策と数値目標等
27	前向きに挑戦できる人づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数学級・少人数指導等の実施 ・道徳教育推進会議の開催、推進校への研究委託、県立学校を実践指定校とした道徳教育の推進 ・「愛知県いじめ防止基本方針」に基づく取組の推進 ・教員の長時間労働是正に向けた取組の推進（勤務時間外の在校時間が80時間を超える教員の割合【2018年度までに小学校5%以下、中学校20%以下、高等学校5%以下、特別支援学校0%、2019年度までに全校種0%】） ・私学助成の推進
28	若者の課題解決能力や社会的自立ができる力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中・高等学校を通じたキャリア教育の推進 （全日制県立高等学校におけるインターンシップ等の体験人数【2020年度までに18,000人以上】） ・「県立高等学校教育推進基本計画」に基づく、学科の設置、コース制の新設・改廃
29	円滑な就業・労働移動への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヤング・ジョブ・あいち」における若年者の総合的な就労支援（ヤング・ジョブ・あいち就職者数【毎年度 過去3年間の平均値×1.05（5%増）】） ・「あいち労働総合支援フロア」における離職者・求職者の総合的な就労支援（あいち労働総合支援フロア利用件数【毎年度65,000件】） ・「愛知県雇用対策協定」に基づく愛知労働局と連携した取組の推進
30	困難を抱える人へのきめ細かな支援	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育コーディネーターによる訪問活動や大学生によるホームフレンド活動等の相談支援の充実強化 ・複数部制単位制高校「城北つばさ高校」の開校・運営【2017年4月開校】 ・生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業の実施や住居確保給付金の支給

52 の政策の柱		主な取組・施策と数値目標等
31	働く場における女性の定着と女性の活躍の場の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・「あいち女性輝きカンパニー」の認証（認証企業数【2020年度までの累計400社】） ・「あいち・ウーマノミクス研究会」の開催による女性の活躍を通じた産業創出や、女性人材の育成・確保促進等に関する研究の実施 ・女性管理職養成セミナーの開催などによる女性のエンパワーメント支援（管理的職業従事者に占める女性の割合【2020年度に20%】） ・モノづくり女子の魅力発信（モノづくり現場で働く女性のロールモデルの発掘、紹介【2020年度までに累計100人】）
32	女性の再就職・起業支援の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・「あいち子育て女性再就職サポートセンター（ママ・ジョブ・あいち）」での総合的な支援（相談等件数【毎年度600件】） ・託児サービス付きの職業訓練の実施 ・女性ビジネスプランコンテストの開催
33	ワーク・ライフ・バランスの一層の取組強化	<ul style="list-style-type: none"> ・労使団体・行政・有識者等で構成する「あいちワーク・ライフ・バランス推進協議会」の開催や「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動」の推進（あいちワーク・ライフ・バランス推進運動賛同事業所数【2020年度に延べ22,000事業所】） ・働き方改革アドバイザー派遣など企業の「働き方改革」の取組の支援 ・「あいちイクメン・イクボス応援会議」の開催や「イクメン・イクボス企業賞」の表彰（男性の育児休業取得者数（育児休業給付金受給者数）【毎年度500人】）

52 の政策の柱		主な取組・施策と数値目標等
34	結婚支援と安心・安全な妊娠・出産支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「婚活協力団体」、「出会い応援団」及び「プラチナ出会い応援団」の登録制度の普及（出会いの場を提供するイベント実施数【2020年度までに年350回】） ・若い世代の男女に対する妊娠・出産に関する知識の普及啓発を図るための健康教育プログラムの実施（学校等と連携して妊孕力（妊娠する力）に関する健康教育を実施する市町村数【2020年までに全市町村】）
35	すべての子ども・子育て家庭への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における子ども・子育ての利用者支援事業に対する補助（実施市町村数【2020年までに44市町村】） ・子どもの貧困対策検討会議による「愛知子ども調査」等の調査結果の分析及び支援策の検討、生活困窮世帯の子どもへの学習支援事業の実施 ・保育所の整備や低年齢児保育の支援の充実（保育所の待機児童数【2020年度までに解消】） ・病児・病後児保育、延長保育、休日保育、事業所内保育など多様な保育サービスの充実 ・放課後児童クラブや放課後子ども教室の充実（放課後児童クラブの待機児童数【2020年までに解消】）
36	児童虐待・DVの防止	<ul style="list-style-type: none"> ・「あいち小児保健医療総合センター」における児童虐待専門医療コーディネーターの配置、県内医療機関の連携体制の構築 ・児童相談センターにおける専門職員の増員や弁護士・法医学専門医師などの配置 ・養育里親及び養子縁組里親研修の実施（入所等児童に占める里親等委託の割合【2019年度までに15.7%】） ・児童養護施設等の小規模化・地域分散化の推進（入所等児童に占めるグループホーム入所児童の割合【2019年度までに10.1%】）

52 の政策の柱		主な取組・施策と数値目標等
37	生涯を通じた健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師や歯科衛生士等の資質向上研修や健康づくりリーダーの育成研修の実施（健康づくりリーダーの養成数【2020年度までに3,024人以上】） ・健康への取組に応じて協力店で特典が受けられる「あいち健康マイレージ事業」の実施（県内の協力店舗数【2020年度までに1,500店舗】） ・がん検診・健康診査の受診率向上や歯と口の健康づくり（8020運動）等の推進
38	シニア世代の社会参加支援	<ul style="list-style-type: none"> ・中高年齢離職者の再就職支援セミナーや企業向けの高年齢者雇用推進セミナーの開催、シルバー人材センターにおける就労機会の確保（高齢者（65歳以上）の労働力率（年平均）【2014年（23.8%）から2020年までに1ポイント以上の上昇】） ・「あいちNPO交流プラザ」や「学びネットあいち」、「あいちシルバーカレッジ」等を通じたシニア層の多様な社会活動への参加促進
39	地域医療の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・県内大学と連携した医師の育成、地域医療支援センターを中心とした医師派遣体制の強化、看護職員の育成や再就業支援 ・救急医療施設の施設整備支援（救命救急センターの整備【2017年度までに2次医療圏に原則として複数設置】） ・「がんセンター中央病院」における高度ながん医療の提供、がん診療連携拠点病院の機能強化支援など、がん対策の推進
40	支援が必要となっても安心して暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムの構築の取組の県内への普及【2020年までに全市町村】 ・特別養護老人ホーム等介護福祉施設の整備や住まいの確保（高齢者向け賃貸住宅（生活支援サービス付き）の供給数【2012～2020年度までの間で約11,000戸を供給】） ・国立長寿医療研究センターと連携した認知症対策 ・あいち健康の森とその周辺地域を対象としたオレンジタウン構想の策定、推進

52 の政策の柱		主な取組・施策と数値目標等
41	特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・大府もちのき特別支援学校の設置【2018年4月開校】 ・尾張北東地区での知的障害特別支援学校の設置【2019年4月開校】 ・西三河南部地区・三好特別支援学校の通学区域内での知的障害及び肢体不自由に対応した特別支援学校の設置・検討 ・幼稚園・保育所、小中学校、高等学校等における特別支援教育の推進（特別支援教育コーディネーターの専任化や、幼児児童生徒の個別の教育支援計画や指導計画の作成・引き継ぎの促進、教員の特別支援学校教諭免許状の取得促進等）
42	障害のある人の地域生活支援と療育支援	<ul style="list-style-type: none"> ・軽度・中等度難聴児への補聴器購入費の助成及びカラーユニバーサルデザインガイドラインの策定 ・「障害者福祉減税基金」を活用した重症心身障害児者施設の設置に対する助成（重症心身障害児者のための病床数【2017年度までに694床】） ・「医療療育総合センター（仮称）」の整備【2018年度に全面供用開始】 ・障害者差別解消推進条例に基づく差別の解消の推進
43	地域における就労支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知障害者職業能力開発校における職業訓練や特別支援学校における職業教育・就労支援の充実 ・中小企業応援障害者雇用奨励金の支給など、事業者・企業への障害者雇用の働きかけ【2020年までに民間企業における障害者法定雇用率（2.3%）達成】
44	障害のある人の活躍の場の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者アーツ展、関連イベントの開催 ・「2018年第7回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知」の開催支援 ・愛知ゆかりの2020年東京パラリンピック強化指定選手への支援
45	社会全体で支える環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設や駅など多くの人々が利用する施設のバリアフリー化の推進（人にやさしい街づくりの推進に関する条例に適合した施設数【2020年度までに37,000施設】）

52 の政策の柱		主な取組・施策と数値目標等
46	災害から県民の生命・財産を守る 強靱な県土づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・「第3次あいち地震対策アクションプラン」の推進 ・住宅の耐震診断、耐震改修補助の実施、段階的耐震改修・木造住宅耐震シェルター整備費補助の拡充（住宅の耐震化率【2020年度までに95%】） ・不特定多数の者が利用する大規模建築物等に対する耐震改修補助 ・避難路沿道建築物に対する耐震診断の実施支援、耐震改修補助 ・県立学校建物の耐震化の推進【2017年度完了】 ・ゼロメートル地帯における広域的な防災活動拠点の整備促進 ・「消防団応援の店制度」や「学生消防団活動認証制度」の普及（学生消防団員数【2020年度までに累計330名】）
47	安全・円滑に移動できる道路交通 環境の実現と交通事故の減少	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道整備、通学路の安全対策、歩行空間のバリアフリー化 ・自動車安全技術プロジェクトチームによる取組の推進 ・高齢者交通安全エリアの設定による通行禁止規制や歩車分離式信号の整備など、高齢者の交通安全対策の推進 ・車両運転中の「ながらスマホ」対策の実施
48	犯罪がなく安心して暮らせる地域 社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・次期あいち地域安全戦略の策定【2017年度】 ・自主防犯団体の設立促進と活動支援 ・「愛知県消費生活総合センター」の機能強化と相談窓口の集約【2018年度に1か所に集約】

52の政策の柱		主な取組・施策と数値目標等
49	持続可能なエネルギー社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅用太陽光発電の普及促進（普及基数【2020年度までに40万基】） ・農業用水を利用した小水力発電施設整備の推進 ・衣浦東部流域下水道における下水汚泥の石炭代替燃料としての利用の実施 ・矢作川流域下水道・豊川流域下水道における下水汚泥のメタン発酵によるガスのエネルギー利用の推進
50	「環境首都あいち」の実現に向けた取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」による大学生の環境リーダー養成事業の実施（環境面における持続可能な地域づくりのリーダーとなる大学生数【年間20人以上】） ・生物多様性「愛知目標」の達成に向けた国際先進広域自治体連合協働事業の実施 ・第70回「全国植樹祭」の開催【2019年5～6月】 ・「三河湾環境再生プロジェクト」の推進
51	持続可能な集約型のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業や市街地再開発事業、都市再生整備計画事業の促進（市街地再開発事業や優良建築物等整備事業により密集市街地の整備改善がなされる地区【2020年度までに11地区】） ・商店街活性化に向けた取組支援（商店街の活性化成功事例創出【2016～2020年度までの間で25件】）
52	社会資本の計画的・効率的な維持管理・更新、運用	<ul style="list-style-type: none"> ・環境調査センター・衛生研究所、運転免許試験場等におけるPFI事業の実施（環境調査センター・衛生研究所【2019年度管理運営開始】、運転免許試験場【2020年度管理運営開始】） ・愛知県国際展示場のコンセッション方式による運営【2019年9月開業】